記者発表資料

東北地方整備局関係
平成２５年度補正予算概要

平成２６年２月６日

東 北 地 方 整 備 局

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会、
岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
港湾空港関係以外　TEL　022-225-2171（代）
港湾空港関係　　TEL　022-716-0005（ダイヤルイン）

総　　括：企画部　企画課長	濱谷（はまや）　健太（けんた）	（内線 3151）
都市・住宅関係：建政部 都市・住宅整備課長	宮崎（みやざき）　貴雄（たかお）	（内線 6161）
河　川　関　係：河川部　河川計画課長	磯部（いそべ）　良太（りょうた）	（内線 3611）
道　路　関　係：道路部　道路計画第一課長	小山（こやま）　健一（けんいち）	（内線 4211）
港湾空港関係：港湾空港部　港湾計画課長	青山（あおやま）　紘悦（ひろえつ）	（内線 6311）
会　計　関　係：総務部　会計課長	城石（しろいし）　裕政（ひろまさ）	（内線 2411）

目　　次

１．東北地方整備局関係　平成２５年度補正予算概要

①平成２５年度　補正予算のポイント　・・・・・・Ｐ　１

②平成２５年度　補正予算事業費　　・・・・・・Ｐ　２

２．主要事業位置図　　・・・・・・・Ｐ　９

３．主要事業一覧　　・・・・・・・Ｐ１０

（資料編）

個別事業の詳細

（１）青森県　　・・・・・・Ｐ資　１

（２）岩手県　　・・・・・・Ｐ資　３

（３）宮城県　　・・・・・・Ｐ資　５

（４）秋田県　　・・・・・・Ｐ資　９

（５）山形県　　・・・・・・Ｐ資１１

（６）福島県　　・・・・・・Ｐ資１４

１．東北地方整備局関係　平成２５年度補正予算概要

①平成２５年度　補正予算のポイント

東日本大震災からの復興の加速とともに、国民の命と暮らしを守る防災・減災に向けての取り組みや、社会資本の老朽化対策、競争力強化に向けた取り組みを推進します。

○東日本大震災の被災地において、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を推進します。

（資料－１）

○今年度甚大な水害、土砂災害が生じた地域の災害対策等を実施し、事前防災・減災対策を推進します。

（資料－２）

○道路、河川、港湾施設について、本格的なメンテナンス時代に向けた老朽化対策を加速化し、インフラの再構築を推進します。

（資料－３）

○円滑な都市・地域活動のための渋滞対策および生活空間の安全確保のための通学路の安全対策を実施します。

（資料－４）

○なお、補正予算の執行にあたっては、公共事業の円滑な施工が確保されるよう、最新の労務単価の適用や被災地の復興係数による工事費補正等、適正な価格による契約、発注ロットの大型化による技術者・技能者の効率的活用、地域の実情に応じた資材の地域外からの調達に係る適正な支払い、入札契約手続きの効率化等の徹底など、万全を期します。

②東北地方整備局関係　平成２５年度　補正予算事業費

国土交通省計上分　事業費　９８０億円

内　訳

競争力強化策	２７５億円
復興、防災・安全対策の加速	４９７億円
国庫債務負担行為（ゼロ国債）	２０７億円

（参考）復興庁計上分について

復興庁計上分　　事業費　３４１億円

※　復興庁計上の東日本大震災からの復興に関する事業については、復興庁設置法第4条第2項第3号に基づき、復興庁が定める「実施に関する計画」の通知を受け、執行する。

東北地方整備局関係　平成25年度　補正予算事業費(国交省計上)

(直轄事業＋補助事業)　　(単位:百万円)

区分	合計 (A=B+E)	小計 (B=C+D)	競争力強化策 (C)	復興、防災・安全対策の加速(D)	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)(E)
治水	18,456	11,397	0	11,397	7,059
海岸	0	0	0	0	0
道路整備	20,931	9,719	2,667	7,052	11,212
港湾整備	2,934	524	0	524	2,410
空港整備	128	128	0	128	0
国営公園等	98	98	0	98	0
社会資本総合整備	24,869	24,869	24,869	0	0
防災安全交付金	30,536	30,536	0	30,536	0
官庁営繕	0	0	0	0	0
合計	97,952	77,271	27,536	49,735	20,681

直轄事業費

区分	合計 (A=B+E)	小計 (B=C+D)	競争力強化策 (C)	復興、防災・安全対策の加速(D)	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)(E)
治水	18,256	11,197	0	11,197	7,059
海岸	0	0	0	0	0
道路整備	20,231	9,419	2,367	7,052	10,812
港湾整備	2,934	524	0	524	2,410
空港整備	128	128	0	128	0
国営公園等	98	98	0	98	0
官庁営繕	0	0	0	0	0
合計	41,647	21,366	2,367	18,999	20,281

補助事業費

区分	合計 (A=B+E)	小計 (B=C+D)	競争力強化策 (C)	復興、防災・安全対策の加速(D)	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)(E)
治水	200	200	0	200	0
道路整備	700	300	300	0	400
港湾整備	0	0	0	0	0
空港整備	0	0	0	0	0
社会資本総合整備	24,869	24,869	24,869	0	0
防災・安全交付金	30,536	30,536	0	30,536	0
合計	56,305	55,905	25,169	30,736	400

※ 端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。
※ 直轄の事業費は、業務取扱費を除く金額(工事関係費)で記載。

東日本大震災からの復旧・復興対策に係る経費(復興庁計上)

(直轄事業＋補助事業) (単位:百万円)

区分	配分額
治　　水	914
道 路 整 備	20,186
港 湾 整 備	2,200
社会資本総合整備	10,782
合　　計	34,082

直轄事業費

区分	配分額
治　　水	914
道 路 整 備	20,086
港 湾 整 備	2,200
合　　計	23,200

補助事業費

区分	配分額
道 路 整 備	100
社会資本総合整備	10,782
合　　計	10,882

※本表の他、直轄の災害復旧費として6,989百万円がある。

被災地における基幹インフラの整備

東日本大震災の被災地において、復興道路、河川堤防、港湾施設等の基幹インフラの整備を推進します。

○復興道路・復興支援道路





H25.10.13普代道路開通



仙塩道路4車線化工事状況

復興道路・復興支援道路(H25.12月末)

総延長　584km

開通済区間　200km

事業中区間　350km

○港湾における復興事業

大型船に対応した国際物流ターミナルを仙台塩釜港に整備するなど、経済復興の礎となる港湾施設を整備します。

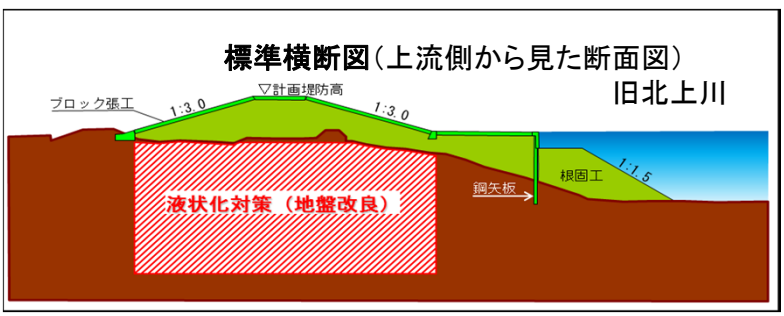




▲仙台塩釜港

○河川堤防整備

旧北上川河口部における大規模地震時の液状化による堤防崩壊を防ぐ対策工を実施するなど、甚大な被害が発生した河口部において、 河川津波対策を推進します。





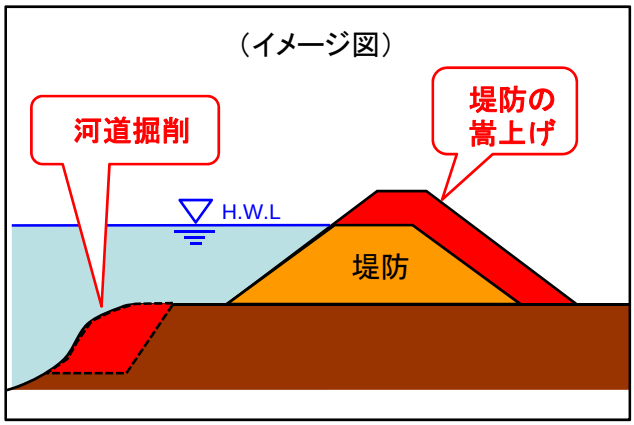
河川等の風水害及び土砂災害対策

今年度甚大な水害、土砂災害が生じた地域の災害対策等を実施し、事前防災・減災対策を推進します。

対策内容及び整備効果の事例

①堤防整備及び河道掘削

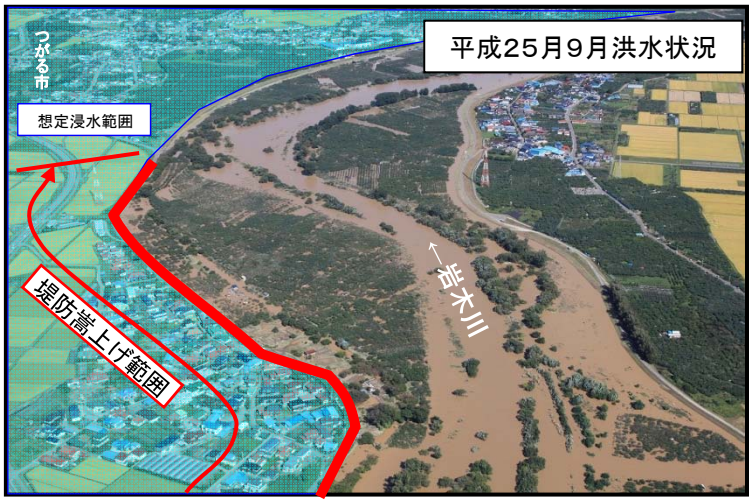
・堤防が低い箇所の嵩上げ等や流下能力が不足している箇所の河道掘削を実施



▼岩木川の事例（つがる市柏～鶴田町野木地区）

昨年9月洪水により堤防天端付近まで水位が上昇

想定浸水戸数※約4,800戸を浸水被害から守ります



②堤防への浸透対策

・洪水時の水の浸透による堤防崩壊の危険性の高い箇所について、浸透対策を実施

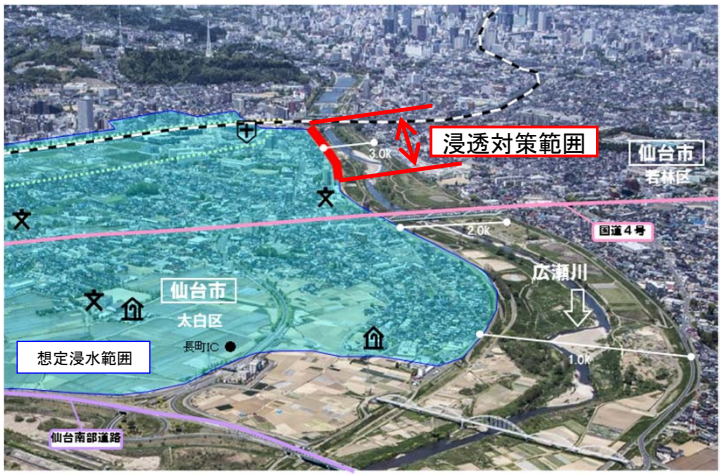
平成24年7月九州豪雨災害の実例



矢部川水系矢部川の堤防決壊
（浸透による破壊）

▼名取川の事例（仙台市太白区長町地区）

浸透対策により、仙台市太白区長町地区の想定浸水戸数※約15,100戸を浸水被害から守ります



〔想定浸水戸数〕

※想定浸水戸数は、河川整備基本方針で定めている年超過確率規模の降雨が発生し、洪水によって危険水位に達した時に決壊すると仮定した場合に浸水が想定される範囲内の戸数です。

道路、河川施設の老朽化対策

道路（トンネル、橋梁等）、河川（護岸、ダム放流設備等）施設について、本格的なメンテナンス時代に向けた老朽化対策を加速化し、インフラの再構築を推進します。

○道路（トンネル、橋梁等）

道路構造物（トンネル、橋梁等）の総点検結果等に基づき、計画的に補修を実施します。

（橋梁）





【鋼材腐食】



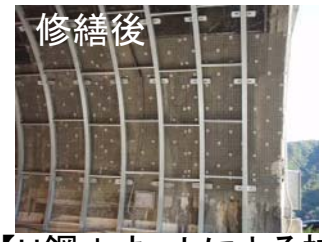
【塗装塗替、当て板補修】

（トンネル）





【コンクリートひび割れ】



【H鋼＋ネットによる補修】

○河川管理施設（河川護岸、ダム放流設備）

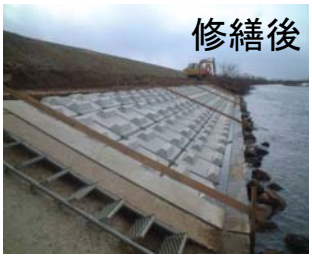
河川護岸の補修・修繕を行い、河岸防護機能を確保します。
また、劣化したダム放流設備の補修・修繕を行い、洪水調節を始めとしたダム機能を確実に確保します。

（河川）





【護岸損傷】



【護岸補修】

（ダム）





【放流設備腐食】



【発錆除去＋再塗装】

主要渋滞箇所の解消および通学路の安全対策

円滑な都市・地域活動のための渋滞対策および生活空間の安全確保のための通学路の安全対策を実施します。

主要渋滞箇所の解消

各県の渋滞対策推進協議会等において、最新の交通データや道路利用者等の意見を踏まえて特定された主要渋滞箇所の解消に向け、バイパス事業や現道拡幅事業等を推進します。



国道13号　山形市内の状況



国道6号　いわき市内の状況

通学路の安全対策

通学路の緊急合同点検結果を踏まえ、児童の安全確保のため早期に実施する必要がある通学路の交通安全対策を推進します。

＜歩道がなく、交通量も多い通学路＞



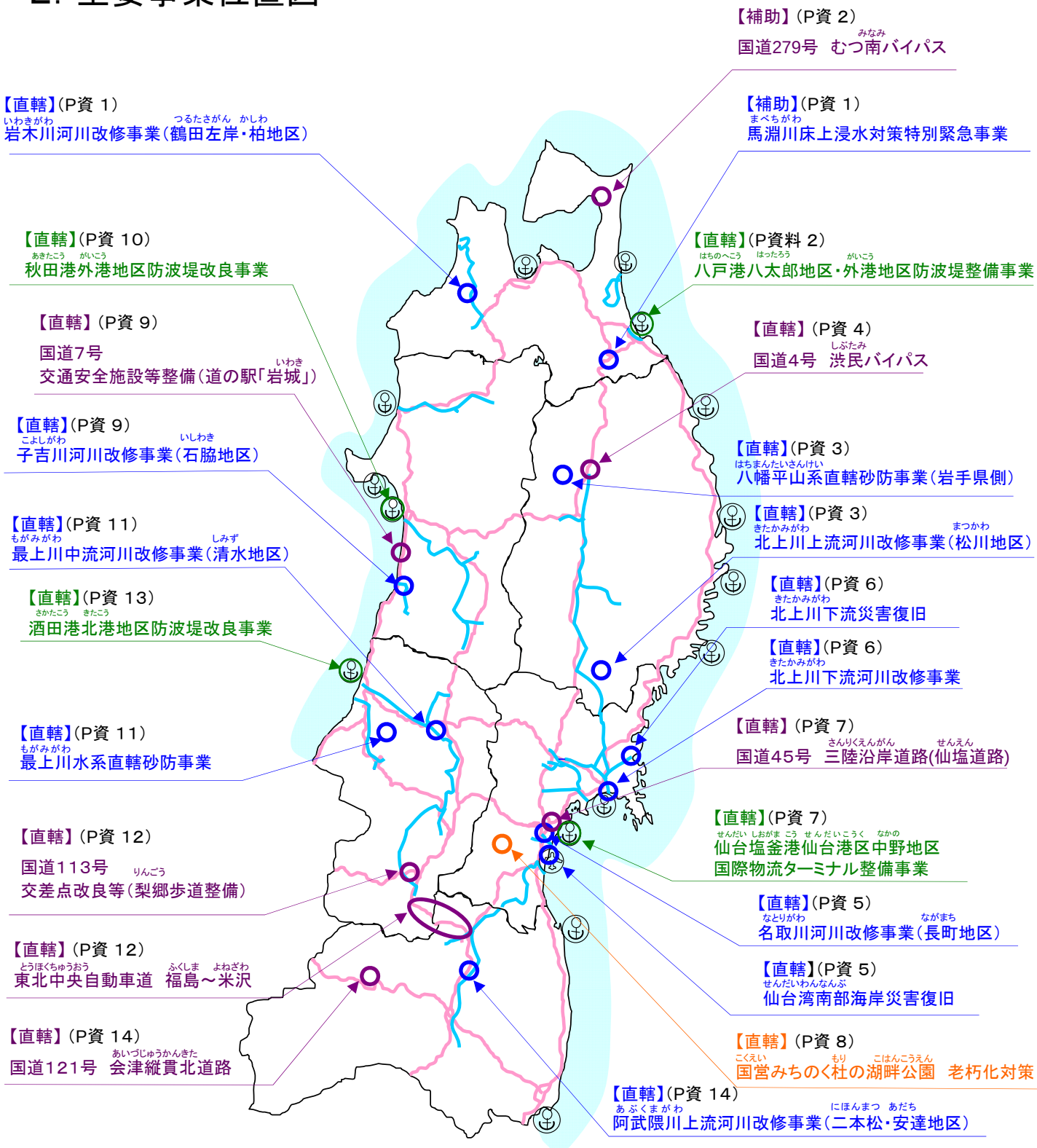
国道113号　山形県南陽市梨郷地区

＜歩行空間が狭小で交通量も多い通学路＞



国道112号　山形市桜田東地区

2. 主要事業位置図



凡　例
河 川 事 業
道 路 事 業
港湾・空港事業
公 園 事 業

3. 主要事業一覧

事業区分		事業名	市町村名	完成･開通目標年度	補正事業費（百万円）	補正事業内容	備考
青森県							
河川	直轄	馬淵川河川改修事業（城下地区）	八戸市	H25	100	浸透対策	
河川	直轄	岩木川河川改修事業（鶴田左岸・柏地区）	つがる市 鶴田町	H25	400	堤防嵩上げ	P資1
河川	補助	馬淵川床上浸水対策特別緊急事業	南部町～ 三戸町	H27	200	河道掘削	P資1
道路	直轄	国道7号　青森7号　老朽化対策	平川市～ 青森市	－	342	道路構造物の修繕等	
道路	補助	国道279号　むつ南バイパス	むつ市	－	300	改良工事	P資2
港湾	直轄	八戸港八太郎地区・外港地区 ★ 防波堤整備事業	八戸市	H30	200	消波工、被覆工	P資2
岩手県							
河川	直轄	北上川上流河川改修事業（松川地区）	一関市	H25	120	河道掘削	P資3
河川 （砂防）	直轄	栗駒山系特定緊急砂防事業（岩手県側）	一関市	H25	200	砂防堰堤	
河川 （砂防）	直轄	八幡平山系直轄砂防事業（岩手県側） ★	八幡平市	H27	150	砂防堰堤	P資3
道路	直轄	国道4号　渋民バイパス	盛岡市	H26	375	改良舗装工事	P資4
道路	直轄	東北横断自動車道釜石秋田線　遠野～宮守 ★	遠野市	H27	1,300	改良工事	
道路	直轄	国道45号　岩手45号　老朽化対策	陸前高田市～ 九戸郡洋野町	－	621	道路構造物の修繕等	
道路	補助	市道　北部環状線 ★	宮古市	－	100	改良工事	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

事業区分		事業名	市町村名	完成･供用目標年度	補正事業費（百万円）	補正事業内容	備考
宮城県							
河川	直轄	名取川河川改修事業（長町地区）	仙台市	H29	300	浸透対策	P資5
河川	直轄	鳴瀬川河川改修事業〔緊急対策特定区間〕（中流部）	大崎市	H26	220	河道掘削、築堤	
河川	直轄	仙台湾南部海岸災害復旧 ★	岩沼市	H27	858	海岸堤防復旧	P資5
河川	直轄	北上川下流災害復旧 ★	石巻市	H27	1,474	河川堤防復旧	P資6
河川	直轄	北上川下流河川改修事業 ★	石巻市	H27	764	地盤改良	P資6
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（仙塩道路） ★	仙台市～宮城郡利府町	H27	2,330	改良工事、橋梁工事	P資7
道路	直轄	国道108号 宮城108号電線共同溝（古川地区電線共同溝）	大崎市	H26	30	本体工事	
道路	直轄	国道4号　宮城4号　老朽化対策	白石市～栗原市	－	497	道路構造物の修繕等	
港湾	直轄	仙台塩釜港仙台港区中野地区 ★ 国際物流ターミナル整備事業	仙台市	H27	1,600	本体工	P資7
港湾	直轄	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区 ★ 国際物流ターミナル整備事業	石巻市	H32	400	地盤改良工	
空港	直轄	仙台空港　誘導路改良事業	名取市 岩沼市	－	128	改良舗装工事	
公園	直轄	国営みちのく杜の湖畔公園　老朽化対策	柴田郡川崎町	－	98	ウッドデッキ補修、遊具改修、休憩施設修繕、トイレ改修	P資8
秋田県							
河川	直轄	米代川河川改修事業（二ツ井右岸地区）	能代市	H25	500	河道掘削	
河川	直轄	雄物川下流河川改修事業（新波地区）	秋田市	H30年代	162	築堤	
河川	直轄	雄物川上流河川改修事業（寺館大巻地区）	大仙市	H30年代	280	築堤	
河川	直轄	子吉川河川改修事業（石脇地区）	由利本荘市	H27	430	河道掘削	P資9
道路	直轄	国道７号　秋田７号交通安全施設等整備 （道の駅「岩城」）	由利本荘市	H26	20	情報提供装置の機能向上、トイレ施設改善	P資9
道路	直轄	国道7号　秋田7号　老朽化対策	にかほ市～大館市	－	487	道路構造物の修繕等	
港湾	直轄	能代港外港地区　防波堤改良事業	能代市	－	270	消波工	
港湾	直轄	秋田港外港地区　防波堤改良事業	秋田市	H30年代	46	消波工、被覆工	P資10

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

事業区分		事業名	市町村名	完成･供用目標年度	補正事業費（百万円）	補正事業内容	備考
山形県							
河川	直轄	最上川下流河川改修事業（新堀地区）	酒田市	H25	150	浸透対策	
河川	直轄	最上川中流河川改修事業（清水地区）	大蔵村	H25	460	浸透対策	P資11
河川	直轄	最上川上流河川改修事業（置賜白川左岸地区）	長井市	H25	320	浸透対策	
河川	直轄	赤川河川改修事業（中流部地区）	三川町	H29	200	河道掘削	
河川（砂防）	直轄	最上川水系直轄砂防事業	庄内町	H26	150	砂防堰堤	P資11
河川（砂防）	直轄	赤川水系直轄砂防事業	鶴岡市	H30	100	砂防堰堤	
道路	直轄	東北中央自動車道　福島～米沢	福島市（福島県）～米沢市	H29	325	改良工事	P資12
道路	直轄	国道13号　大野目交差点改良	山形市	H26	200	改良舗装工事	
道路	直轄	国道113号 山形113号交差点改良等（梨郷歩道整備）	南陽市	H26	81	改良舗装工事	P資12
道路	直轄	国道7号　山形7号　老朽化対策	鶴岡市～飽海郡遊佐町	－	1,044	道路構造物の修繕等	
港湾	直轄	酒田港北港地区　防波堤改良事業	酒田市	H30年代	208	基礎工、消波工	P資13
福島県							
河川	直轄	阿武隈川上流河川改修事業（二本松・安達地区）	二本松市	H27	500	築堤	P資14
河川	直轄	阿武隈川上流河川改修事業（伏黒右岸地区）	伊達市	H28	350	浸透対策	
道路	直轄	国道121号　会津縦貫北道路	喜多方市～会津若松市	H27	450	改良工事	P資14
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路（霊山～福島）　★	伊達市～伊達郡桑折町	－	900	調査設計等	
道路	直轄	国道49号 福島49号電線共同溝（亀田地区電線共同溝）	郡山市	H26	16	支障移転補償	
道路	直轄	国道4号　福島4号　老朽化対策	西白河郡西郷村～伊達郡国見町	－	458	道路構造物の修繕等	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

（資料編）

・個別事業の詳細

1）青森県　　・・・・・・・・・・・P資　１

2）岩手県　　・・・・・・・・・・・P資　３

3）宮城県　　・・・・・・・・・・・P資　５

4）秋田県　　・・・・・・・・・・・P資　９

5）山形県　　・・・・・・・・・・・P資　１１

6）福島県　　・・・・・・・・・・・P資　１４

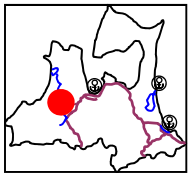
（1）青森県

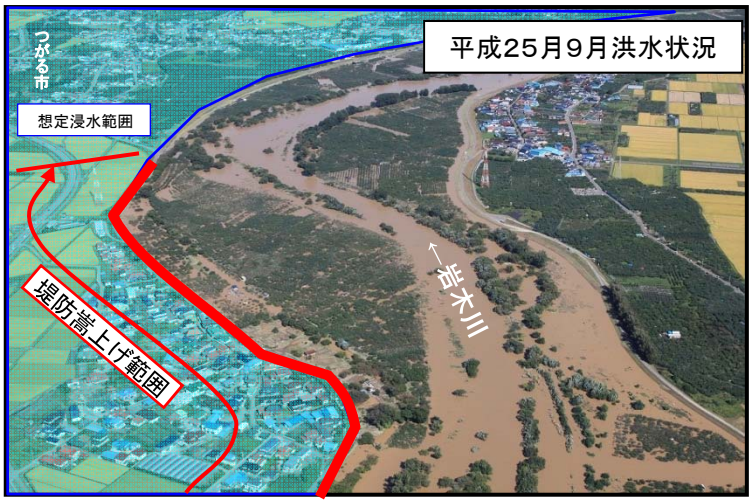
岩木川河川改修事業（鶴田左岸・柏地区）

補正予算事業費
400百万円

完成	青森県つがる市～鶴田町	河川	直轄

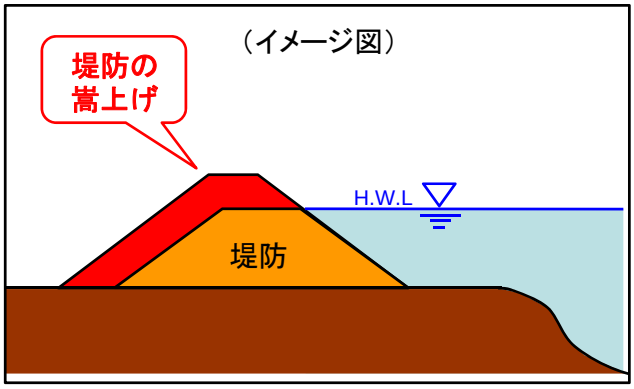
平成25年9月洪水により、堤防天端付近まで水位が上昇した鶴田左岸・柏地区において、堤防の嵩上げを実施します。





▲岩木川　鶴田左岸・柏地区（つがる市柏～鶴田町野木地先）

堤防整備により想定浸水戸数約4,800戸を浸水被害から守ります。

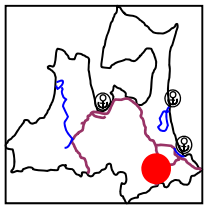


馬淵川床上浸水対策特別緊急事業

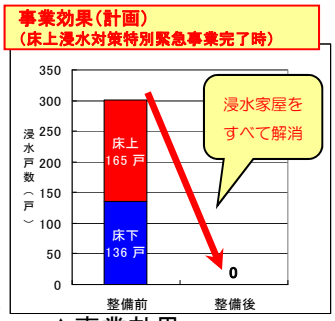
補正予算事業費
200百万円

継続	青森県三戸郡南部町～青森県三戸郡三戸町	河川	補助

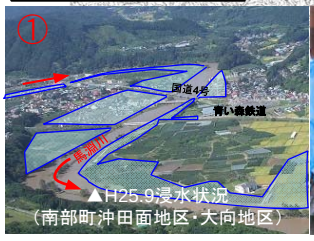
平成23年9月出水等の浸水被害を契機として、平成24年度から宅地の浸水被害解消を目的とした治水対策事業を実施中のところ、平成25年9月出水により甚大な被害が発生したことから、更なる促進と早期の浸水被害解消に向けて河道掘削を実施します。







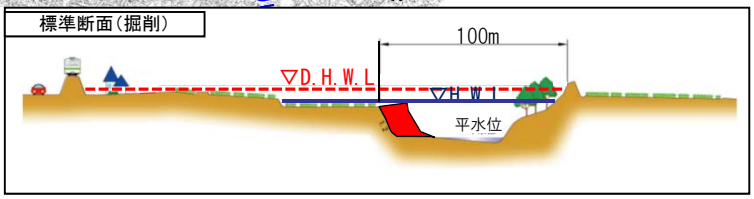
▲事業効果



▲H25.9浸水状況
（南部町沖田面地区・大向地区）



▲H25.9浸水状況
（南部町大向地区）

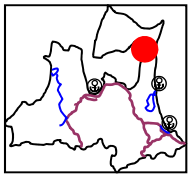


国道279号　むつ南（みなみ）バイパス

補正予算事業費
300百万円

継続	青森県むつ市	道路	補助

国道279号　むつ南（みなみ）バイパスは、下北半島縦貫道路の一部を構成し、下北地方生活圏の連携強化、多様なエネルギー関連プロジェクトが展開されている、むつ小川原開発地区へのアクセス強化、 むつ市内の渋滞緩和を図る自動車専用道路です。







▲下北町交差点の渋滞状況

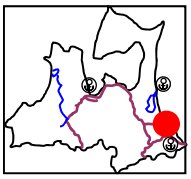
むつ南バイパスの整備により、むつ市内の渋滞緩和を図ります。

八戸港八太郎（はちのへこうはったろう）地区・外港（がいこう）地区　防波堤整備事業

補正予算事業費
200百万円

継続	青森県八戸（はちのへ）市	港湾	直轄

防波堤の整備により、港内静穏度を向上させ、荷役作業の効率性を高めるとともに、港内航行船舶の安全性を確保します。







▲安定的な荷役の実現
（河原木2号岸壁：ニッケル鉱取扱状況）

※避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所

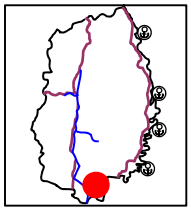
（2）岩手県

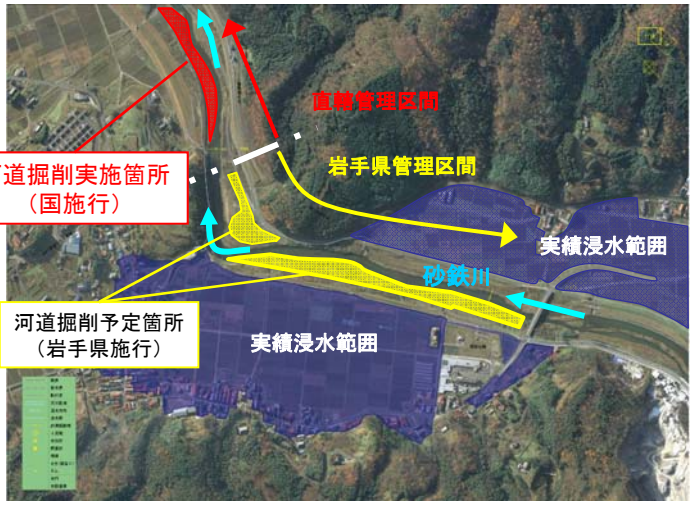
北上川上流河川改修事業（松川地区）

補正予算事業費
120百万円

完成	岩手県一関市	河川	直轄

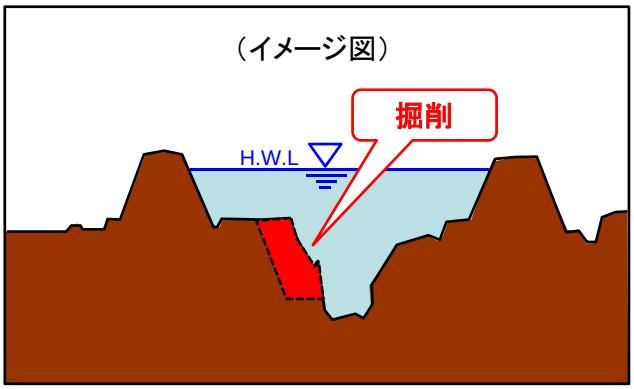
平成25年7月洪水により浸水被害が発生した砂鉄川において、岩手県と一体となって、河道掘削を行い、一連区間の治水安全度を向上させます。





▲北上川上流（砂鉄川） 松川地区（一関市東山町松川地先）

河道掘削により想定浸水戸数約100戸を浸水被害から守ります。

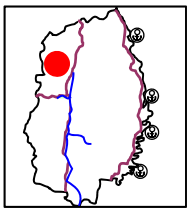


八幡平山系直轄砂防事業　西根牧野沢砂防堰堤

補正予算事業費
150百万円

継続	岩手県八幡平市	河川（砂防）	直轄

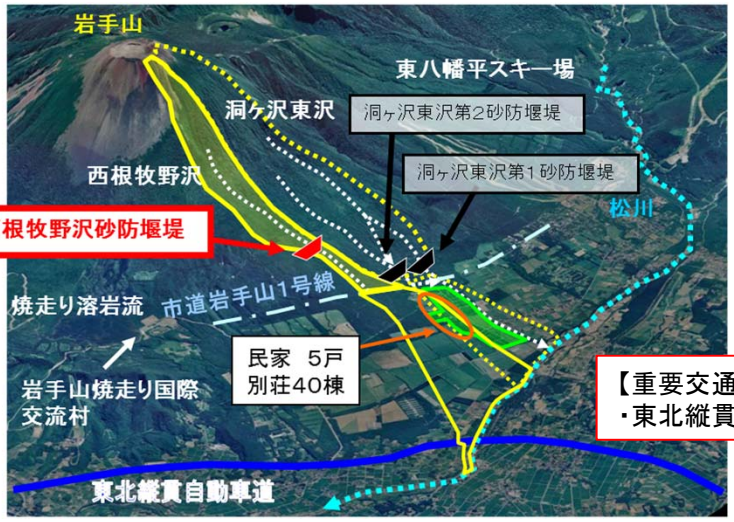
西根牧野沢砂防堰堤の整備により、岩手山噴火後に発生する土砂の流出を防止・抑制し、下流域の人家5戸、別荘40戸、東北縦貫自動車道、市道を保全します。

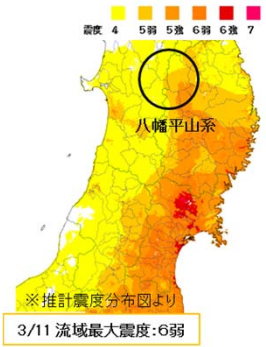



噴気をあげる岩手山



※比較的降雨が多くない場合も土砂災害が発生している。





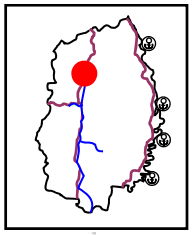
【重要交通網保全対象】
・東北縦貫自動車道（14,872台/日）

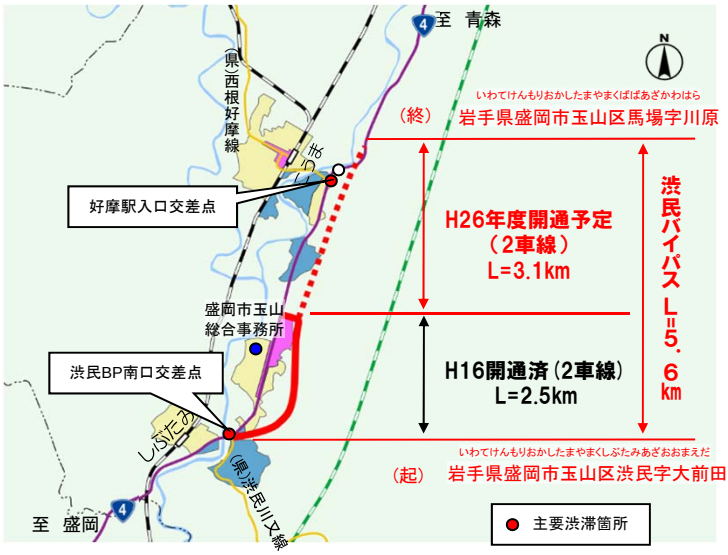
国道4号　渋民（しぶたみ）バイパス

補正予算事業費
375百万円

継続	岩手県盛岡（もりおか）市	道路	直轄

渋民（しぶたみ）バイパスは、渋民（しぶたみ）地区の交通混雑の緩和及び、交通安全の確保を図り、暮らしの安全性向上と交通の利便性の確保を目的とする道路です。平成16年度までに延長2．5kmを2車線で部分開通しています。







▲現道混雑状況（未開通区間）
【H25.5.14撮影】

渋民バイパスの整備により、主要渋滞箇所の交通混雑緩和が図られます。

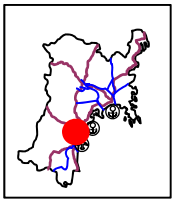
（3）宮城県

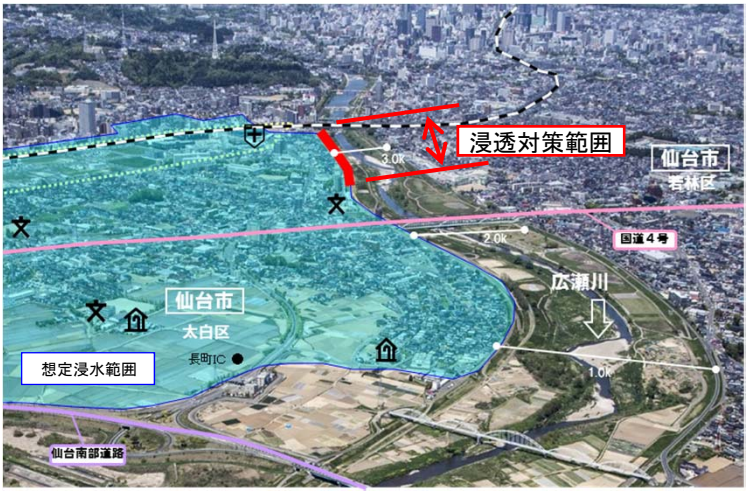
名取川河川改修事業（長町地区）

補正予算事業費
300百万円

継続	宮城県仙台市	河川	直轄

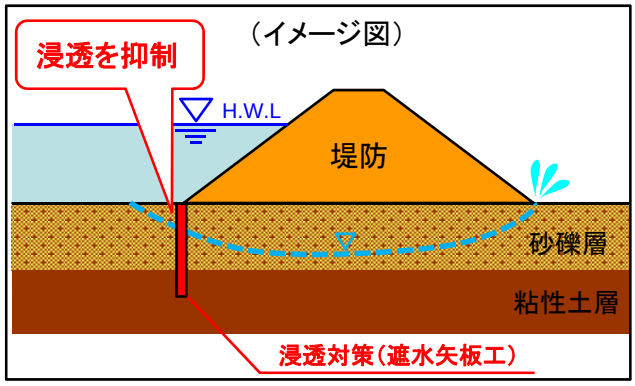
平成24年の九州北部豪雨災害後の堤防緊急点検結果を踏まえ、安全性が低いと判断された長町地区において、浸透対策を実施します。





▲名取川（広瀬川） 長町地区（仙台市太白区長町地先）

浸透対策により想定浸水戸数約15,100戸を浸水被害から守ります。

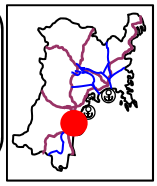


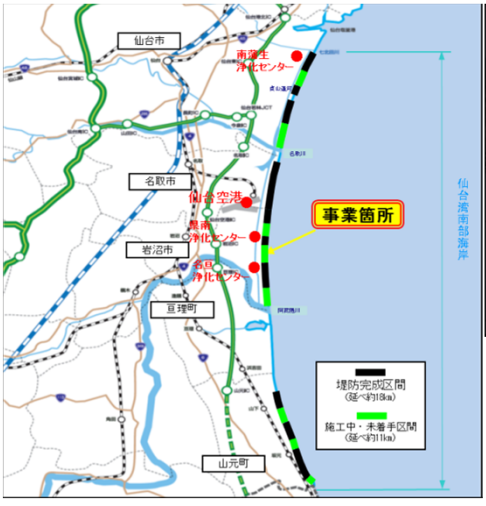
仙台湾南部海岸災害復旧

補正予算事業費
858百万円

継続	宮城県岩沼市	海岸	直轄

東日本大震災の被災地の復旧・復興を推進するため、仙台湾南部海岸の二の倉工区等において、海岸堤防の復旧・整備のさらなる延伸を図ります。









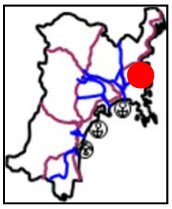
二の倉工区の海岸堤防復旧状況

北上川下流災害復旧（きたかみがわ）

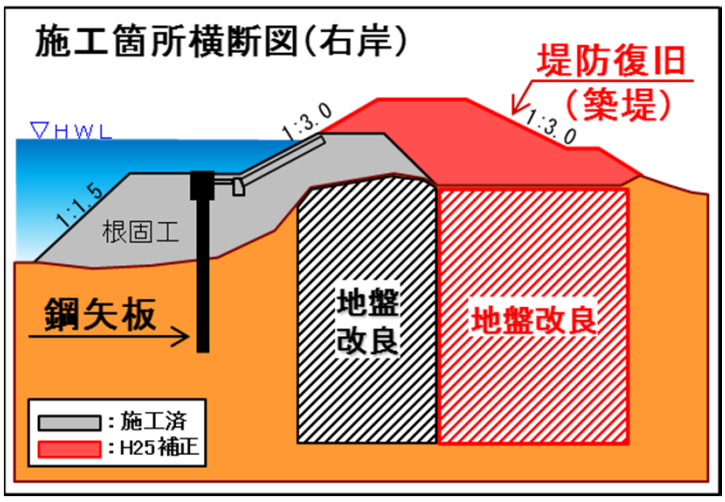
補正予算事業費
1，474百万円

継続	宮城県石巻市（いしのまき）	河川	直轄

北上川河口部において、地域の復興計画等との整合を図りながら、東日本大震災で甚大な被害を受けた堤防の復旧を実施します。





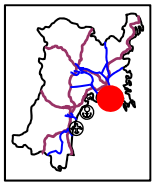


北上川下流河川改修事業（きたかみがわ）

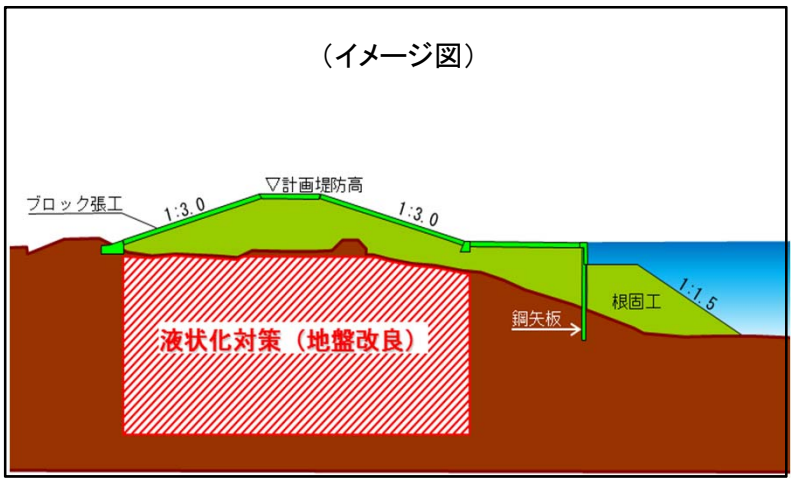
補正予算事業費
764百万円

継続	宮城県石巻市（いしのまき）	河川	直轄

旧北上川河口部において、地域の復興計画等との整合を図りながら、新たに整備する堤防の基盤となる液状化対策を実施します。





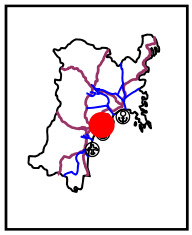


国道45号　三陸沿岸道路(仙塩道路)

補正予算事業費
2，330百万円

継続	宮城県仙台市～宮城郡利府町	道路	直轄

復興道路である三陸沿岸道路（仙塩道路）は、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路であり、東日本大震災被災地におけるインフラの整備を加速化し、早期復興の推進を目的とする4車線化事業です。







▲仙塩道路の混雑状況

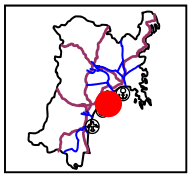
仙塩道路の4車線化整備により、慢性的な交通混雑が緩和され、被災地の早期復興に寄与します。

仙台塩釜港仙台港区中野地区　国際物流ターミナル整備事業

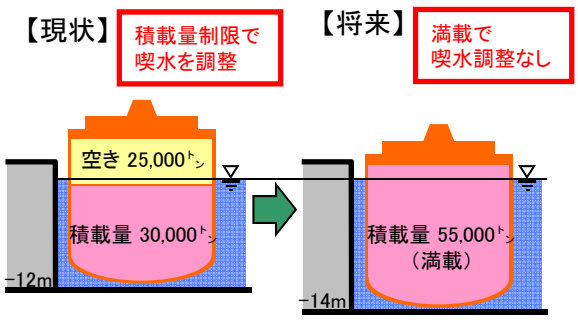
補正予算事業費
1，600百万円

継続	宮城県仙台市	港湾	直轄

新たな国際物流ターミナルを整備することにより、大型船の喫水調整等を解消し、海上輸送コストの削減を図るとともに、ばら積み貨物の混在が解消され、効率的な輸送を可能とします。







水深14m岸壁の整備により穀物輸送船の満載入港が可能となり、効率的な輸送が実現

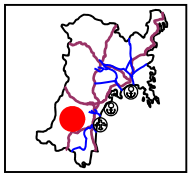
▲大水深岸壁の整備効果

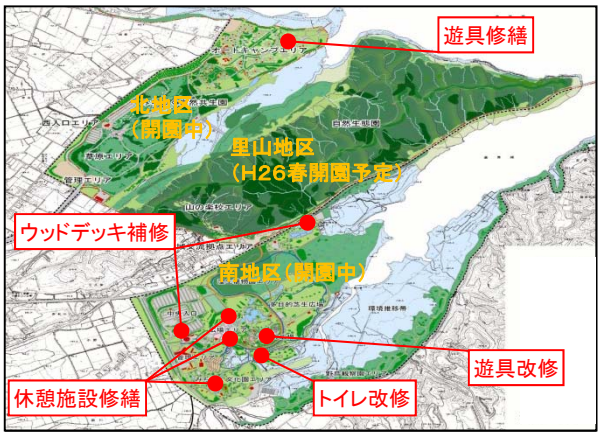
国営みちのく杜の湖畔公園　老朽化対策

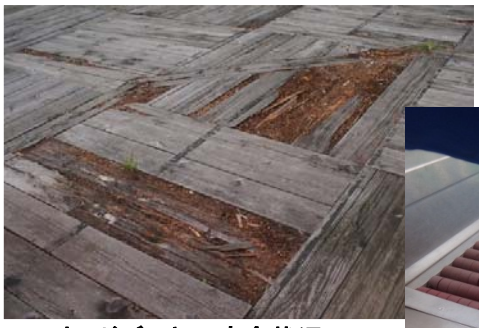
補正予算事業費
98百万円

継続	宮城県柴田郡川崎町	公園	直轄

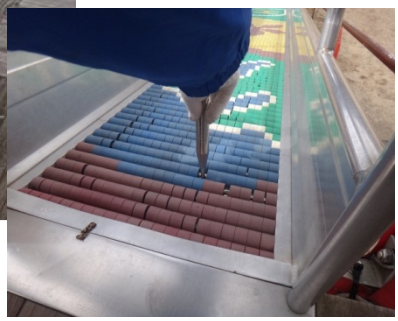
国営みちのく杜の湖畔公園は平成元年の開園以来、周辺地域の振興と交流の拠点として大きな役割を果たしており、平成25年には累計入園者数が1，300万人を突破しました。しかし、開園から20年以上経過し、公園施設の老朽化がみられるため、利用者の安全を確保する観点から、施設の老朽化に伴う危険箇所の補修等、早急に実施する必要のある公園施設の老朽化対策を実施します。







▲ウッドデッキの腐食状況



▲滑り台のローラー部の摩耗状況

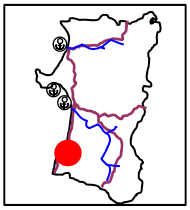
（４）秋田県

子吉川河川改修事業（石脇地区）

補正予算事業費
430百万円

継続	秋田県由利本荘市	河川	直轄

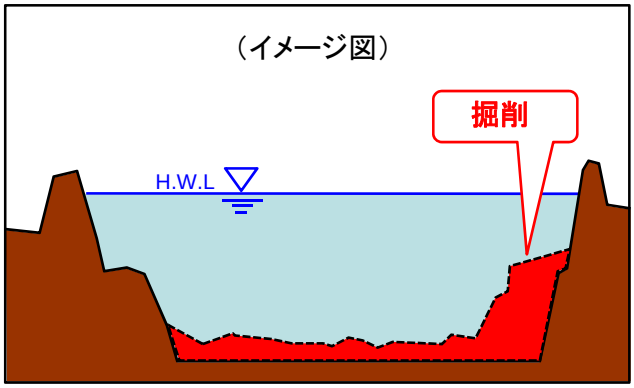
平成23年、平成25年洪水において、氾濫危険水位を超えたことから、河道掘削を実施します。





▲子吉川　石脇地区（由利本荘市石脇地先）

河道掘削により想定浸水戸数約3,900戸を浸水被害から守ります。

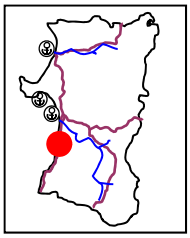


国道7号 秋田7号交通安全施設等整備（道の駅「岩城」）

補正予算事業費
20百万円

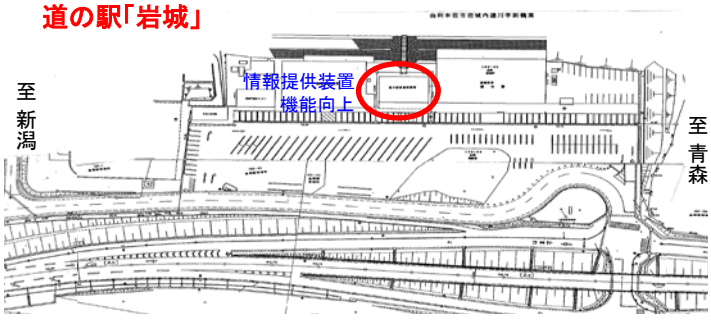
継続	秋田県由利本荘市	道路	直轄

道の駅「岩城」は平成11年に登録され、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や、海洋レジャー施設や温泉施設と一体となった交流拠点として地域振興に貢献しているが、情報提供装置の機能向上やトイレ施設の改善を行い、既存施設の充実、機能強化を図ります。





▲情報提供装置の機能向上（イメージ）



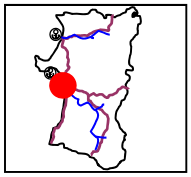
情報提供装置の機能向上等により、既存施設の充実、機能強化が図られます。

秋田港外港地区　防波堤改良事業

補正予算事業費
46百万円

継続	秋田県秋田市	港湾	直轄

老朽化により安定性が低下している防波堤を改良することにより、低下している防波堤の機能を回復させ、港内航行船舶の安全性を確保します。







▲防波堤改良のイメージ

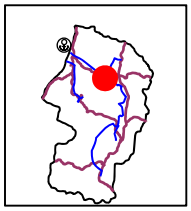
（５）山形県

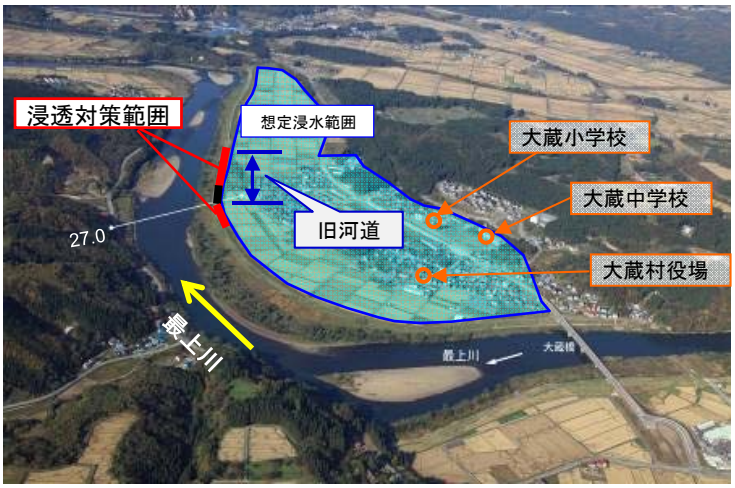
最上川中流河川改修事業（清水地区）

補正予算事業費
460百万円

完成	山形県最上郡大蔵村	河川	直轄

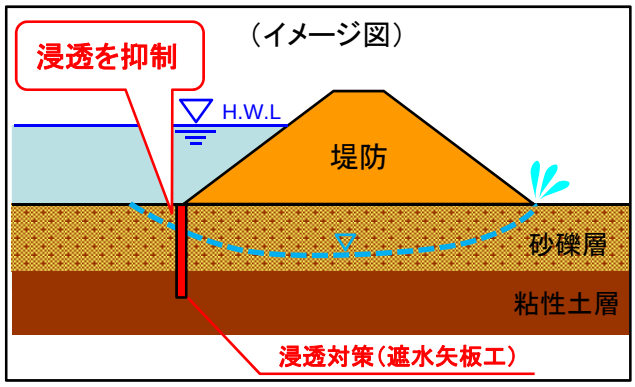
平成24年の九州北部豪雨災害後の堤防緊急点検結果を踏まえ、安全性が低いと判断された清水地区において、浸透対策を実施します。





▲最上川中流　清水地区（大蔵村清水地先）

浸透対策により想定浸水戸数約300戸を浸水被害から守ります。

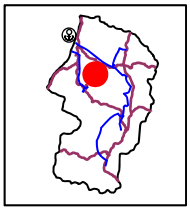


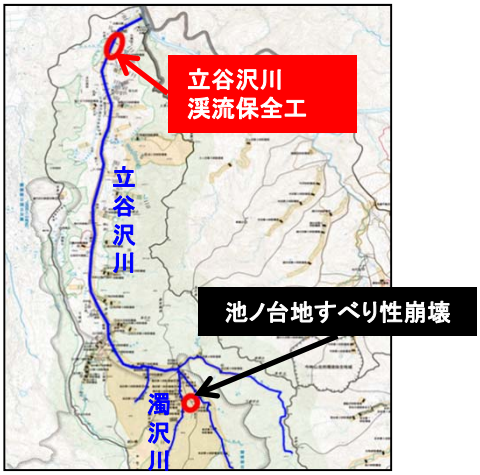
最上川水系直轄砂防事業　立谷沢川渓流保全工

補正予算事業費
150百万円

継続	山形県東田川郡庄内町	河川（砂防）	直轄

立谷沢川上流域は、平成23年5月に大規模な地すべり性の崩壊が発生し、不安定土砂が降雨等により流出する危険性が高いことから、渓流保全工を実施し、土砂災害から下流域を保全します。





池ノ台地すべり性崩壊箇所

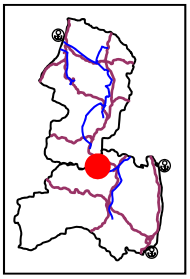


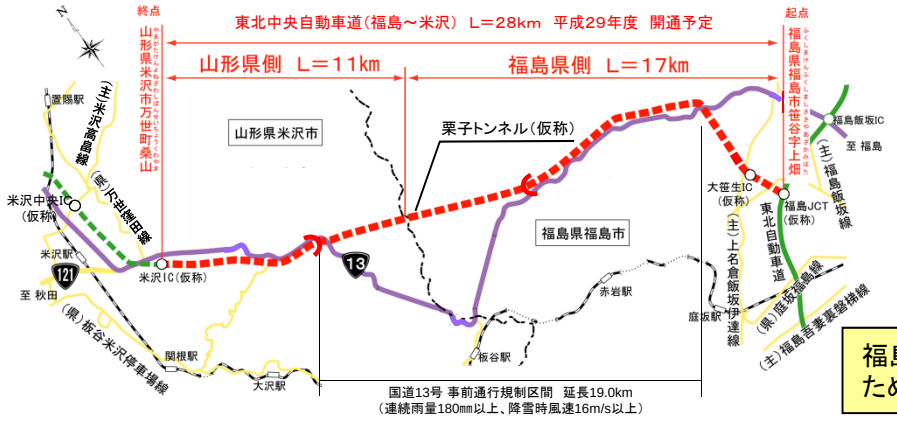
東北中央自動車道　福島～米沢

補正予算事業費
325百万円

継続	福島県福島市～山形県米沢市	道路	直轄

東北中央自動車道は、福島県相馬市から秋田県横手市間に計画されている延長約270kmの高速自動車国道です。
福島～米沢間は、東北中央自動車道の一部を構成し、国道13号の事前通行規制区間や豪雪災害による道路寸断に対する代替性を確保することを目的とした、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲国道13号　H14.7.11　土砂崩落
（事前通行規制実施中に被災）

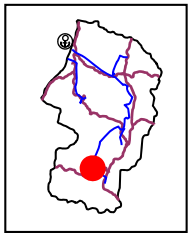
福島～米沢間の整備により、代替性の確保のための道路ネットワークの整備が図られます。

国道113号　山形113号交差点改良等（梨郷歩道整備）

補正予算事業費
81百万円

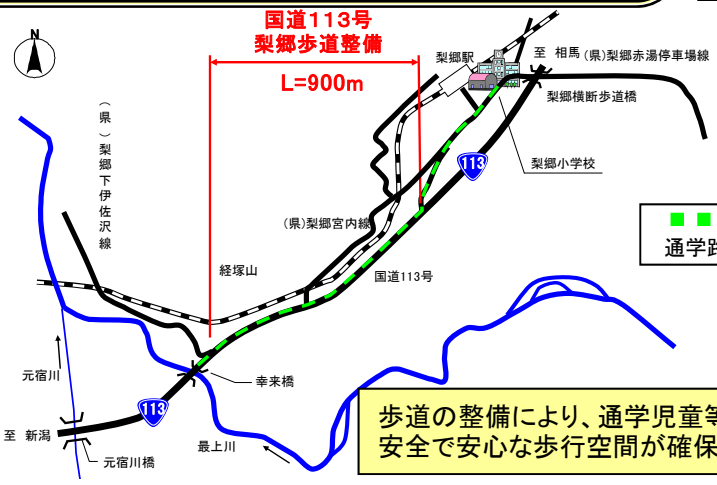
継続	山形県南陽市	道路	直轄

当該箇所は、梨郷小学校の通学路に指定されているものの、歩道が未整備のため通学児童等歩行者の通行に支障をきたしており、通学路の緊急合同点検等を踏まえ、児童の安全確保のため通学路の交通安全対策を早期に実施する必要があることから、歩道の新設を行い児童等歩行者の安全確保を図ります。





▲国道113号梨郷地区の通学時の状況



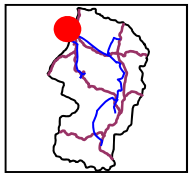
歩道の整備により、通学児童等歩行者の安全で安心な歩行空間が確保されます。

酒田港北港地区　防波堤改良事業

補正予算事業費
208百万円

継続	山形県酒田市	港湾	直轄

老朽化により安定性が低下している防波堤を改良することにより、低下している防波堤の機能を回復させ、港内航行船舶の安全性を確保します。







▲防波堤改良のイメージ

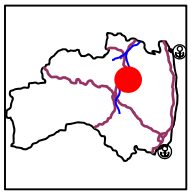
（6）福島県

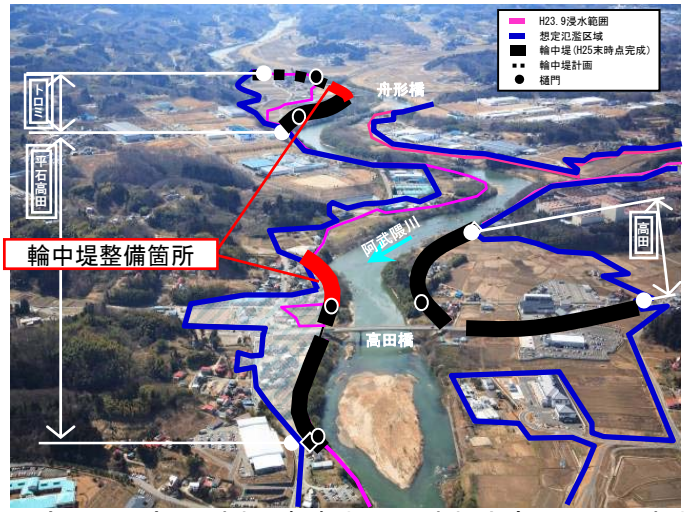
阿武隈川上流河川改修事業（二本松・安達地区）

補正予算事業費
500百万円

継続	福島県二本松市	河川	直轄

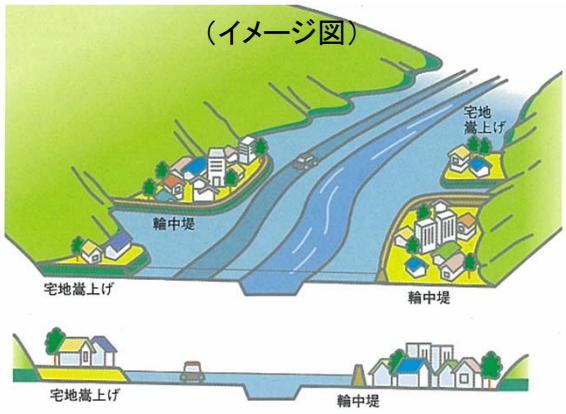
平成14年や平成23年などの洪水により浸水被害が発生している二本松・安達地区において、輪中堤整備を実施します。





▲阿武隈川上流　二本松・安達地区（二本松市高田～上川崎地先）

狭窄部においては、輪中堤や宅地嵩上げ等により、効率的及び早期に治水安全度を向上させます。

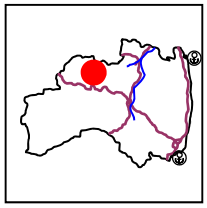


国道121号　会津縦貫北道路

補正予算事業費
450百万円

継続	福島県喜多方市～会津若松市	道路	直轄

会津縦貫北道路の一部を構成し、喜多方市から会津若松市間の地域間交流を図るほか、交通混雑を緩和し、観光期や通勤・通学などの利便性向上を目的とする自動車専用道路です。平成25年9月までに喜多方IC～湯川南IC間の延長10.1kmを2車線で部分開通しています。









▲国道121号の渋滞状況

会津縦貫北道路が開通することで、主要渋滞箇所の交通混雑緩和が図られます。